
令和元年度 事業報告書

(令和元年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)



学校法人 日本医科大学

目次

I 学校法人の概要	頁
1 学是と教育理念	1
2 沿革	2
3 法人が設置する教育研究機関・付置施設	3
4 理事会・評議員会の開催状況及び役員一覧	5
5 法人の組織機構	7
6 教職員数一覧	11
7 学生数	12
8 入試状況・国家試験・学位授与	13
9 卒業生の進路	14
10 国際交流活動	15
II 事業の概要	16
III 財務の概要	
1 令和元年度決算の概要	20
2 財務状況の推移	21
3 主な財務比率	25
4 その他	26
5 財産目録	27

I 学校法人の概要

1. 学是と教育理念

(1) 日本医科大学

建学の精神 濟生救民

学是 克己殉公

教育理念 愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成

日本医科大学は、1876年に長谷川泰により創設された濟生学舎を前身とし、創立140年を超えるわが国最古の私立医科大学である。本学の源流である濟生学舎は、その建学の精神を「濟生救民」（貧しくて、そのうえ病気で苦しんでいる人々を救うのが、医師の最も大切な道である）とし、その精神は大正7年に学是「克己殉公」（我身を捨てて、広く人々のために尽くす）として掲げられた。その建学の精神は、時代の変遷を経て今なお日本医科大学の学是として、明日の医療を担う学生たちに脈々と受け継がれている。また、教育理念は、建学の精神と学是をさらに明確に表現した「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」である。

(2) 日本獣医生命科学大学

学是 敬讓相和

到達目標 愛と科学の聖業を培う

教育理念 愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成

日本獣医生命科学大学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」であり、学是は「敬讓相和」である。その意味は、謙讓と協調、愛と倫理を育む科学の創生を説いた箴言である。本学の目的は、生命科学新時代・環境科学新時代・食品科学新時代の開拓者として、総合的な《生命科学の知と技》を練磨するとともに、《人間愛・動物愛》の豊かで清冽な人材の育成にある。

(3) 日本医科大学看護専門学校

学是 克己殉公

教育理念 私心を捨て社会に貢献する。

己に打ち克ち、公のために生きる。

日本医科大学の建学の精神を基盤に、自律性、主体性、創造性に富む豊かな人間性を培う。共同存在を基盤とした関係を築きながら、倫理的視点と科学的根拠に基づく思考力、判断力、責任ある行動がとれる看護師を育成する。

2. 沿革

- 明治 9 年 (1876) 4 月 長谷川泰により、東京・本郷に西洋医学による医師養成学校「済生学舎」設立。日本医科大学の源流である。
- 明治 14 年 (1881) 9 月 東京・小石川(護国寺境内)に日本最初の「私立獣医学校」設立。日本獣医生命科学大学の源流である。
- 明治 25 年 (1892) 11 月 私立獣医学校を東京・牛込市ヶ谷に移転し、特別認可「私立東京獣医学校」と改称。
- 明治 36 年 (1903) 8 月 済生学舎廃校。
- 明治 37 年 (1904) 4 月 「私立日本医学校」設立。
- 明治 43 年 (1910) 11 月 東京・文京区千駄木に私立日本医学校付属駒込医院開設(現、日本医科大学付属病院)。
- 明治 44 年 (1911) 3 月 東京・目黒に私立東京獣医学校の校舎を新築移転し、「私立日本獣医学校」と改称。
- 明治 45 年 (1912) 7 月 私立日本医学校を「財団法人私立日本医学専門学校」とする。
- 大正 8 年 (1919) 8 月 財団法人私立日本医学専門学校を「財団法人日本医学専門学校」と改称。
- 大正 10 年 (1921) 1 月 日本医学専門学校付属医院看護婦講習科設置。
- 大正 13 年 (1924) 7 月 日本医学専門学校付属飯田町医院開設(平成 9 年 10 月閉院の日本医科大学付属第一病院)。
- 大正 15 年 (1926) 2 月 大学令により「財団法人日本医科大学」に昇格、予科を併設。
- 昭和 12 年 (1937) 3 月 「私立日本獣医学校」を現在の東京・武蔵境に移転。
- 昭和 12 年 (1937) 6 月 日本医科大学付属丸子病院開設(現、武蔵小杉病院)。
- 昭和 13 年 (1938) 4 月 専門学校令により私立日本獣医学校が「財団法人日本高等獣医学校」に昇格。
- 昭和 19 年 (1944) 4 月 財団法人日本高等獣医学校から「日本獣医畜産専門学校」と改称。
- 昭和 24 年 (1949) 2 月 「財団法人日本獣医畜産大学」の設立許可。
- 昭和 26 年 (1951) 2 月 学制改革により財団法人日本医科大学が「学校法人日本医科大学」となる。
- 昭和 26 年 (1951) 3 月 財団法人日本獣医畜産大学が「学校法人日本獣医畜産大学」となる。
- 昭和 27 年 (1952) 2 月 学校法人日本医科大学と学校法人日本獣医畜産大学が合併。
- 昭和 35 年 (1960) 4 月 日本医科大学大学院医学研究科設置。
- 昭和 37 年 (1962) 3 月 日本獣医畜産大学大学院獣医学研究科設置。
- 昭和 43 年 (1968) 4 月 社団法人老人病研究会付属老人病研究所を学校法人日本医科大学に移管し、「日本医科大学老人病研究所」となる。
- 昭和 52 年 (1977) 1 月 日本医科大学付属病院救命救急センター発足(厚生省承認第 1 号)。
- 昭和 52 年 (1977) 7 月 日本医科大学多摩永山病院開設。
- 昭和 61 年 (1986) 7 月 国際交流センター設置。
- 平成 4 年 (1992) 10 月 日本獣医畜産大学「富士アニマルファーム」設置。
- 平成 4 年 (1992) 12 月 日本医科大学新東京国際空港クリニック開設(現、日本医科大学成田国際空港クリニック)。
- 平成 5 年 (1993) 4 月 日本医科大学千葉看護専門学校設置(現、日本医科大学看護専門学校)。
- 平成 6 年 (1994) 1 月 日本医科大学千葉北総病院開設。
- 平成 9 年 (1997) 2 月 日本医科大学腎クリニック開設。
- 平成 13 年 (2001) 12 月 知的財産・ベンチャー育成(TLO)センター設置(現、知的財産推進センター)。
- 平成 15 年 (2003) 11 月 日本医科大学呼吸ケアクリニック開設。
- 平成 18 年 (2006) 2 月 日本医科大学健診医療センター開設。
- 平成 18 年 (2006) 4 月 日本獣医畜産大学を「日本獣医生命科学大学」に改称。
- 平成 26 年 (2014) 3 月 日本医科大学新丸子校舎を閉舎し、基礎科学課程を武蔵境校舎へ移設。
- 平成 26 年 (2014) 4 月 ICT 推進センターを設置。
- 平成 27 年 (2015) 1 月 女性医師・研究者支援室を設置(現、しあわせキャリア支援センター)。
- 平成 27 年 (2015) 4 月 老人病研究所を「先端医学研究所」に改称。
- 平成 28 年 (2016) 1 月 研究統括センターを設置。

3. 法人が設置する教育研究機関・付置施設

千駄木キャンパス



日本医科大学

〒113-8602
東京都文京区千駄木 1-1-5
TEL 03-3822-2131 (代)

- 日本医科大学大学院
- 先端医学研究所



付属病院

〒113-8603
東京都文京区千駄木 1-1-5
TEL 03-3822-2131 (代)

- ワクチン療法研究施設

- 国際交流センター
- 知的財産推進センター
- ICT推進センター
- 研究統括センター
- しあわせキャリア支援センター

武蔵境キャンパス



日本獣医生命科学大学

〒180-8602
東京都武蔵野市境南町 1-7-1
TEL 0422-31-4151 (代)

- 日本獣医生命科学大学大学院
- 日本獣医生命科学大学付属動物医療センター
- 日本医科大学武蔵境校舎

腎クリニック

〒113-0021
東京都文京区本駒込 1-7-15
アサカビル
TEL 03-3821-1601

健診医療センター

〒113-0022
東京都文京区千駄木 1-12-15
TEL 03-5814-6651

成田国際空港クリニック

〒282-0004
千葉県成田市古込字古込 1-1
成田国際空港第2旅客ターミナルビル地下1階
TEL 0476-34-6119

多摩永山病院

〒206-8512
東京都多摩市永山 1-7-1
TEL 042-371-2111 (代)

呼吸ケアクリニック

〒102-0074
東京都千代田区九段南 4-7-15
JPR市ヶ谷ビル8階
TEL 03-5276-2325

千葉北総キャンパス



日本医科大学看護専門学校

〒270-1613
千葉県印西市鎌苅 1955
TEL 0476-99-1331 (代)



千葉北総病院

〒270-1694
千葉県印西市鎌苅 1715
TEL 0476-99-1111 (代)



武蔵小杉病院

〒211-8533
神奈川県川崎市中原区小杉町 1-396
TEL 044-733-5181 (代)

(1) 日本医科大学	学長	弦間 昭彦
大学院医学研究科	医学研究科長	森田 明夫
医学部	医学部長	伊藤 保彦
付属病院	院長	汲田 伸一郎
腎クリニック	所長	平間 章郎
呼吸ケアクリニック	所長	日野 光紀
健診医療センター	センター長	福嶋 善光
ワクチン療法研究施設	所長	廣田 薫
武蔵小杉病院	院長	田島 廣之
多摩永山病院	院長	中井 章人
千葉北総病院	院長	清野 精彦
成田国際空港クリニック	所長	赤沼 雅彦
先端医学研究所	所長	田中 信之
(2) 日本獣医生命科学大学	学長	清水 一政
大学院獣医生命科学研究科	研究科長	田崎 弘之
獣医学部	獣医学部長	小山 秀一
応用生命科学部	応用生命科学部長	藤澤 倫彦
付属ワイルドライフ・ミュージアム	館長	羽山 伸一
付属動物医療センター	院長	藤田 道郎
付属牧場(富士アニマルファーム)	牧場長	吉村 格
生命科学共同研究施設	施設長	袴田 陽二
(3) 日本医科大学看護専門学校	校長	内藤 明子
(4) 付置施設		
国際交流センター	センター長	新田 隆
知的財産推進センター	センター長	桑名 正隆
ICT推進センター	センター長	林 宏光
研究統括センター	センター長	弦間 昭彦
しあわせキャリア支援センター	センター長	土佐 眞美子

4. 理事会・評議員会の開催状況及び役員一覧

(1) 理事会

()内は書面による出席者数

開催年月日		出席状況			議事内容等
		理事	監事	合計	
平成31年	4月23日	13(1)	3	16	学校法人日本医科大学2019年度給与改定に関する件等
令和元年	5月28日	14(2)	3	17	平成30年度学校法人日本医科大学決算(事業報告を含む)に関する件等
	6月25日	14(1)	3	17	2019年度上半期期末勤務手当支給に関する件等
	7月23日	14(1)	3	17	次期日本獣医生命科学大学長の任命に関する件等
	9月24日	13	3	16	One Health実行委員会規程の制定に関する件等
	10月29日	12(1)	3	15	日本医科大学付属病院長選任規程の制定及び日本医科大学病院組織規則の一部改正に関する件等
	11月26日	12	3	15	学校法人日本医科大学寄附行為の一部改正に関する件等
	12月3日	11	3	14	法人寄附行為第23条第1項第3号評議員の選任に関する件等
	12月17日(1回目)	8	1	9	法人寄附行為第6条第1項第3号理事選任に関する件
	12月17日(2回目)	14	1	15	学校法人日本医科大学理事長選任に関する件等
	12月24日	14	2	16	日本医科大学教員の採用・昇任・委嘱に関する件(医学部教授会承認)
令和2年	1月28日	14(1)	2	16	日本医科大学付属病院近接不動産の購入に関する件等
	2月25日	14(1)	2	16	学校法人日本医科大学監事監査規程の一部改正に関する件等
	3月24日	14	2	16	令和2年度学校法人日本医科大学予算(案)及び事業計画(案)に関する件等

(2) 理事・監事

理事定員数：14名、監事定員数：2～3名

令和2年3月31日現在

氏名	就任年月日	常勤・非常勤	主な現職	区分	選任区分
坂本 篤裕	R1.12.17	常勤	理事長・日本医科大学大学院教授	2号理事	評議員
鈴木 秀典	R1.12.17	常勤	常務理事・日本医科大学大学院教授	2号理事	評議員
汲田 伸一郎	R1.12.17	常勤	常務理事・日本医科大学付属病院院長	2号理事	評議員
弦間 昭彦	H30.10.1	常勤	常務理事・日本医科大学長	1号理事	日本医科大学長
清水 一政	R1.10.1	常勤	理事・日本獣医生命科学大学長	1号理事	日本獣医生命科学大学長
阿久澤 良造	R1.12.17	非常勤	理事・日本獣医生命科学大学名誉教授	2号理事	評議員
猪口 正孝	R1.12.17	非常勤	理事・社会医療法人社団正志会理事長・東京都医師会副会長・東京都病院協会会長他	2号理事	評議員
鎌田 隆	R1.12.17	非常勤	理事・弁護士	2号理事	評議員
庄山 悦彦	R1.12.17	非常勤	理事・㈱日立製作所名誉相談役	3号理事	学識経験者
高橋 浩	R1.12.17	常勤	理事・日本医科大学大学院教授	3号理事	学識経験者
中井 章人	R1.12.17	常勤	理事・日本医科大学多摩永山病院院長	3号理事	学識経験者
三浦 公嗣	R1.12.17	非常勤	理事・慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教授	3号理事	学識経験者
山中 伸一	R1.12.17	非常勤	理事・㈱ドワンゴ取締役・学校法人角川ドワンゴ学園理事長	3号理事	学識経験者
吉田 寛	R1.12.17	常勤	理事・日本医科大学大学院教授	3号理事	学識経験者
大喜多 啓光	H30.6.1	非常勤	監事・桐蔭横浜大学法科大学院客員教授・弁護士		監事
藤井 敬之	R1.12.17	非常勤	監事		監事

(3) 評議員会

()内は書面による出席者数

開催年月日	出席状況				議事内容等	
	評議員	理事	監事	合計		
令和元年	5月28日	37(3)	2	3	42	学校法人日本医科大学2019年度給与改定に関する件等
	11月26日	35(1)	2	3	40	学校法人日本医科大学寄附行為の一部改正に関する件等
	12月17日	40(6)	-	1	41	法人寄附行為第6条第1項第2号理事選任に関する件等
令和2年	3月24日	40(6)	-	2	42	令和2年度学校法人日本医科大学予算(案)及び事業計画(案)に関する件等

(4) 評議員

定員数：36～42名

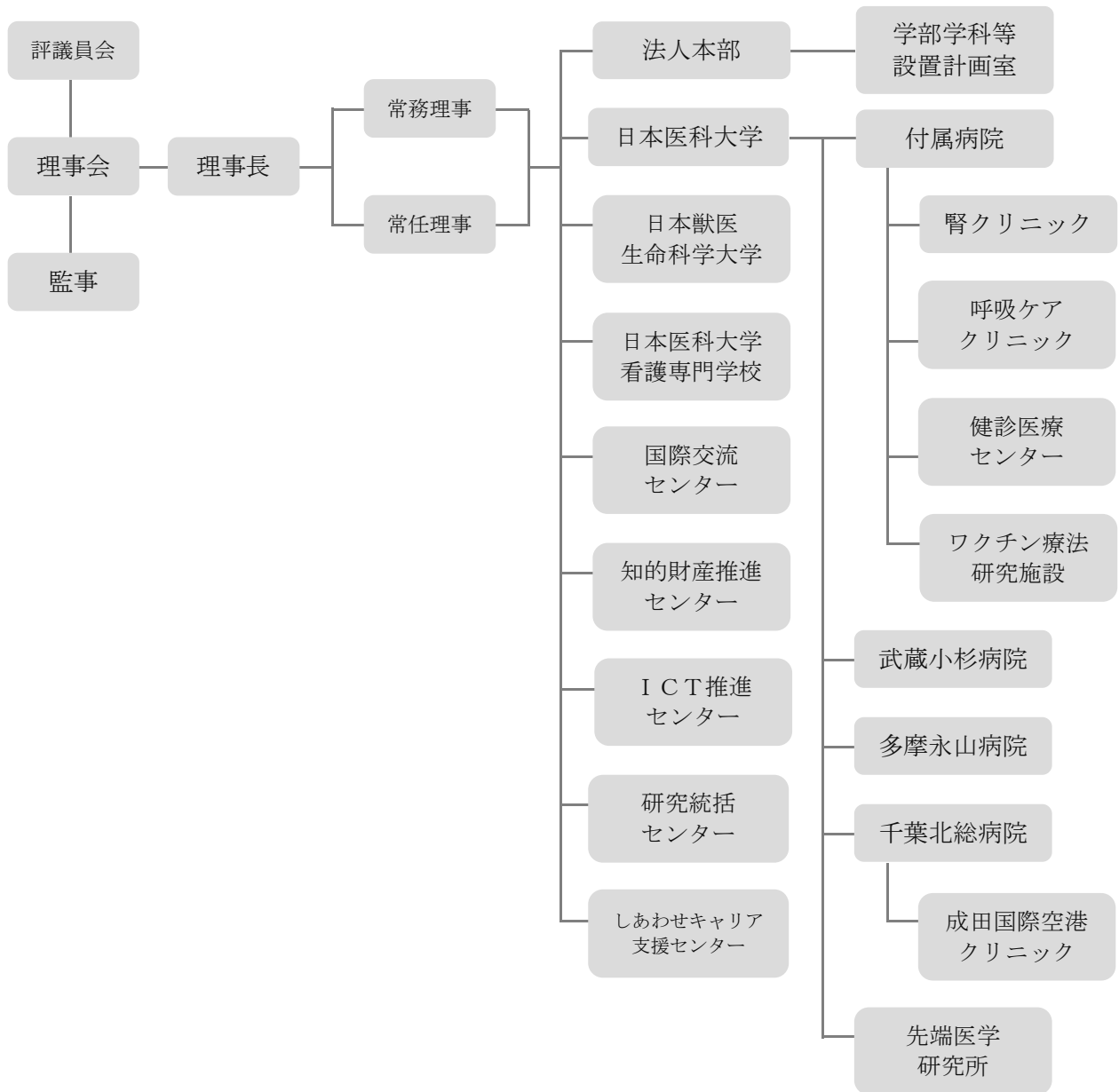
令和2年3月31日現在

氏名	就任年月日	主な現職	区分	選任区分
越野 立夫	R1.12.7	評議員会議長・日本医科大学同窓会監事	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
弦間 昭彦	H30.10.1	評議員・日本医科大学長	1号評議員	日本医科大学長
清水 一政	R1.10.1	評議員・日本獣医生命科学大学長	1号評議員	日本獣医生命科学大学長
森田 明夫	H31.4.1	評議員・日本医科大学大学院教授	2号評議員	日本医科大学大学院医学研究科長
伊藤 保彦	H30.10.1	評議員・日本医科大学大学院教授	2号評議員	日本医科大学医学部長
野村 俊明	H31.4.1	評議員・日本医科大学教授	2号評議員	日本医科大学基礎科学主任
汲田 伸一郎	H30.4.1	評議員・日本医科大学大学院教授	2号評議員	日本医科大学付属病院院長
田島 廣之	H30.4.1	評議員・日本医科大学教授	2号評議員	日本医科大学武蔵小杉病院院長
中井 章人	H30.4.1	評議員・日本医科大学教授	2号評議員	日本医科大学多摩永山病院院長
清野 精彦	H30.4.1	評議員・日本医科大学名誉教授	2号評議員	日本医科大学千葉北総病院院長
田崎 弘之	H30.4.1	評議員・日本獣医生命科学大学教授	2号評議員	日本獣医生命科学大学 大学院獣医生命科学部研究科長
小山 秀一	H31.4.1	評議員・日本獣医生命科学大学教授	2号評議員	日本獣医生命科学大学獣医学部長
藤澤 倫彦	H31.4.1	評議員・日本獣医生命科学大学教授	2号評議員	日本獣医生命科学大学応用生命科学部長
高橋 浩	R1.12.7	評議員・日本医科大学大学院教授	3号評議員	本法人職員
吉田 寛	R1.12.7	評議員・日本医科大学大学院教授	3号評議員	本法人職員
近江 俊徳	R1.12.7	評議員・日本獣医生命科学大学教授	3号評議員	本法人職員
高樋 康夫	R1.12.7	評議員・法人本部総務部部長	3号評議員	本法人職員
山本 臣生	R1.12.7	評議員・日本医科大学付属病院事務部部長	3号評議員	本法人職員
鈴木 智恵子	H29.4.1	評議員・日本医科大学付属病院看護部部長	3号評議員	付属病院看護部部長
阿久澤 良造	R1.12.7	評議員・日本獣医生命科学大学名誉教授	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
猪口 正孝	R1.12.7	評議員・社会医療法人社団正志会理事長・東京都医師会副会長・ 東京都病院協会会長他	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
江澤 和彦	R1.12.7	評議員・日本医師会常任理事・医療法人博愛会理事長・医療法人和香会理事長他	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
釜 范 敏	R1.12.7	評議員・日本医師会常任理事・群馬県医師会参与	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
小 儀 孝	R1.12.7	評議員・一般社団法人日本養豚協会専務理事・ 日本獣医生命科学大学同窓会副会長	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
坂本 篤裕	R1.12.7	評議員・学校法人日本医科大学理事長・日本医科大学大学院教授	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
渋谷 哲男	R1.12.7	評議員・日本医科大学同窓会会長・巨樹の会狭山中央病院院長	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
中條 眞二郎	R1.12.7	評議員・日本獣医生命科学大学同窓会会長・日本獣医生命科学大学名誉教授	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
南 砂	R1.12.7	評議員・読売新聞東京本社常務取締役調査研究本部長	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
山本 保博	H29.12.1	評議員・医療法人白鳳会東京曳舟病院院長・日本医科大学名誉教授	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
横田 裕行	R1.12.7	評議員・日本医科大学医師会会長・日本医科大学大学院教授	4号評議員	本法人が設置する大学の卒業生
鎌田 隆	R1.12.7	評議員・弁護士	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
工藤 翔二	H28.4.1	評議員・公益財団法人結核予防会理事長・日本医科大学名誉教授	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
庄山 悦彦	R1.12.7	評議員・(株)日立製作所名誉相談役	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
鈴木 秀典	R1.12.7	評議員・学校法人日本医科大学常務理事・日本医科大学大学院教授	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
高部 正男	R1.12.7	評議員・市町村職員中央研修所学長	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
辻 哲夫	R1.12.7	評議員・東京大学高齢社会総合研究機構特任教授	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
寺本 明	R1.12.7	評議員・湘南医療大学副学長・日本医科大学名誉教授	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
中本 晃	R1.12.7	評議員・(株)島津製作所代表取締役会長・学校法人島津学園理事長他	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
三浦 公嗣	R1.12.7	評議員・慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教授	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)
山中 伸一	R1.12.7	評議員・(株)ドワンゴ取締役・学校法人角川ドワンゴ学園理事長	5号評議員	学識経験者(本法人大学卒業生、職員を除く)

5. 法人の組織機構

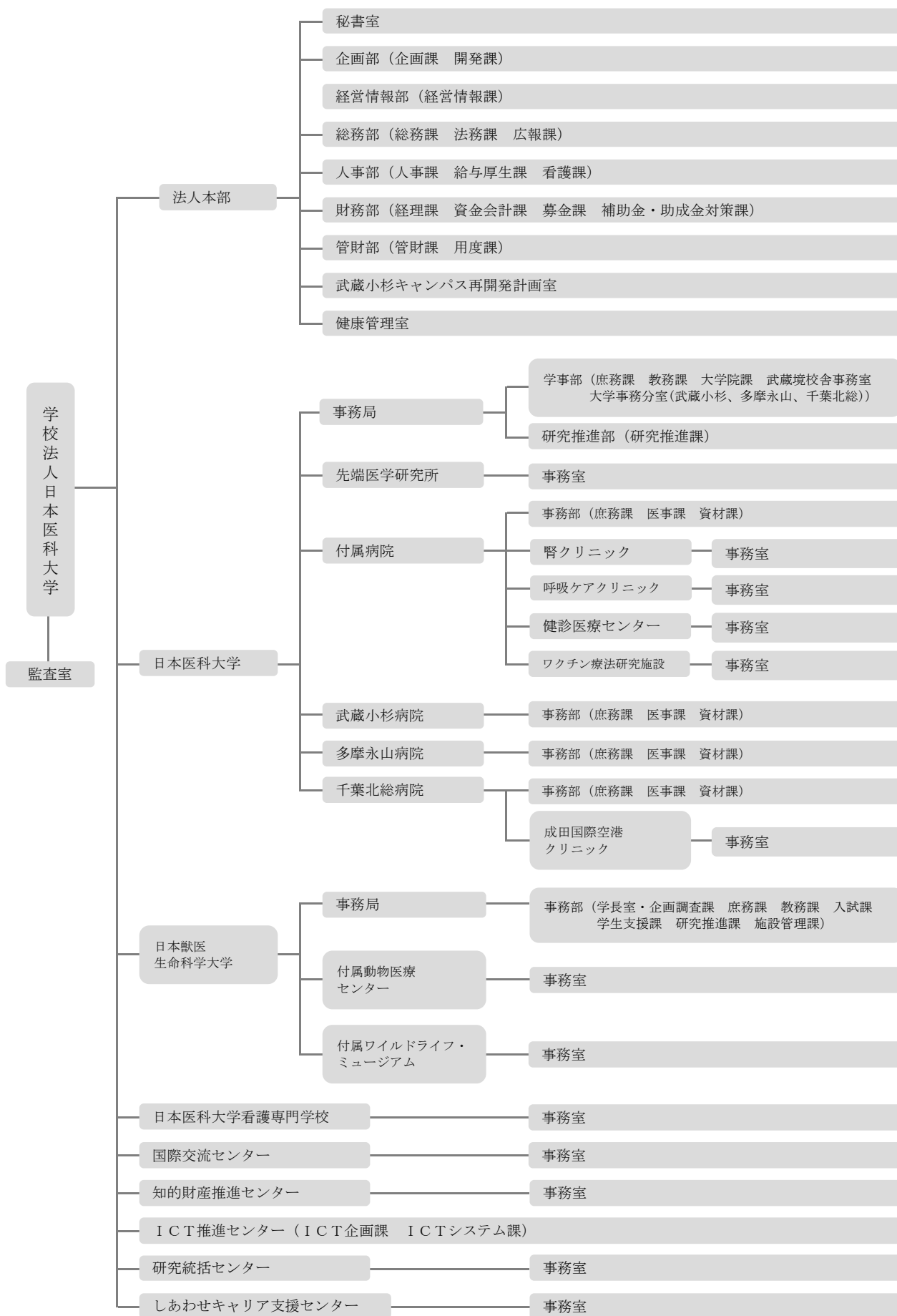
(1) 法人組織

令和2年3月31日現在



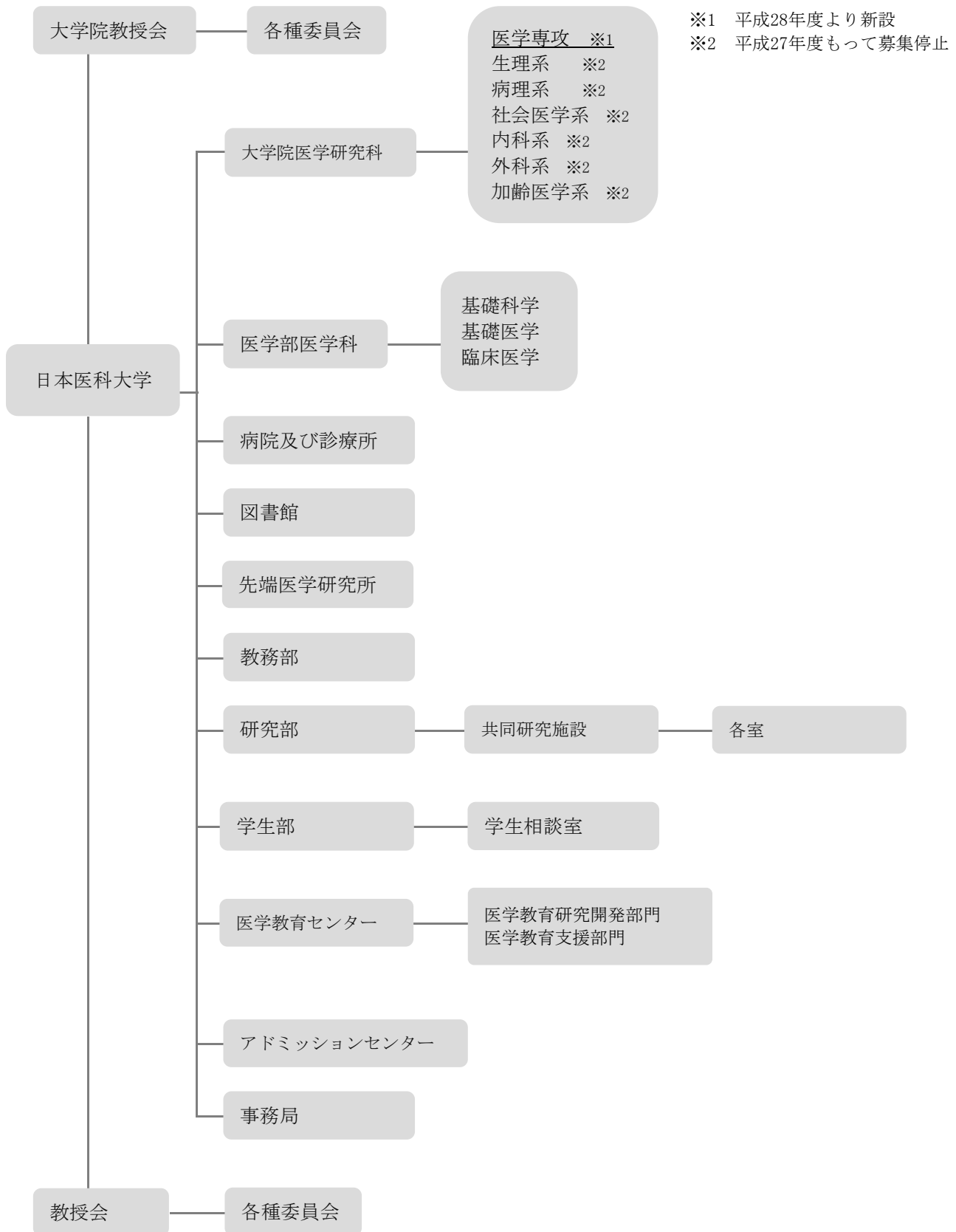
(2) 事務組織

令和2年3月31日現在



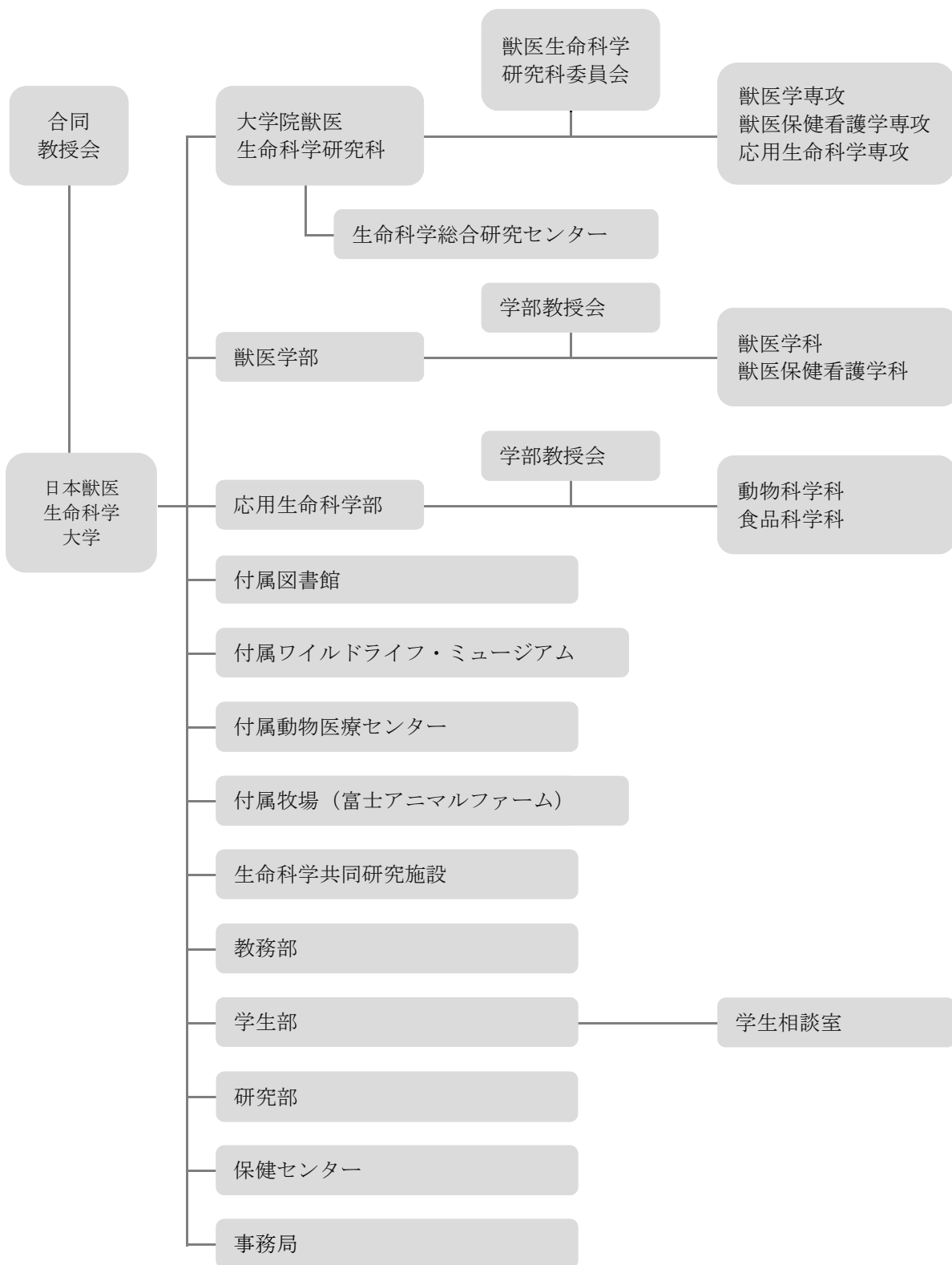
(3) 日本医科大学

令和2年3月31日現在



(4) 日本獣医生命科学大学

令和2年3月31日現在



6. 教職員数一覧

(1) 教員

令和元年5月1日現在

		教授	准教授	講師	助教	専任教員	計
日本医科大学	日本医科大学	20	21	27	38		106
	付属病院	39	54	56	251		400
	腎クリニック				2		2
	呼吸ケアクリニック		1		3		4
	健診医療センター			1	2		3
	ワクチン療法研究施設				1		1
	武蔵小杉病院	10	16	21	109		156
	多摩永山病院	4	13	11	97		125
	千葉北総病院	9	24	13	136		182
	成田国際空港クリニック	1			2		3
	先端医学研究所	5	2	4	9		20
	小計	88	131	133	650		1,002
	日本獣医生命科学大学	獣医学部	29	23	23	18	
応用生命科学部		18	12	6	3		39
小計		47	35	29	21		132
日本医科大学看護専門学校						17	17
合計		135	166	162	671	17	1,151

(2) 職員

令和元年5月1日現在

		事務職	看護職	技術職	技能職	計
法人本部		67			4	71
日本医科大学	日本医科大学	66		39	1	106
	付属病院	170	1,230	322	31	1,753
	腎クリニック	1	6	4		11
	呼吸ケアクリニック	3	5	2		10
	健診医療センター	2	7	7		16
	ワクチン療法研究施設	2				2
	武蔵小杉病院	68	576	121	7	772
	多摩永山病院	64	578	114	5	761
	千葉北総病院	97	721	167	6	991
	成田国際空港クリニック	4	7	2		13
	先端医学研究所	2		8		10
	小計	479	3,130	786	50	4,445
	日本獣医生命科学大学	獣医学部	24		1	16
応用生命科学部		16	1		4	21
小計		40	1	1	20	62
日本医科大学看護専門学校		6				6
国際交流センター		2			1	3
知的財産推進センター		3				3
ICT推進センター		6				6
研究統括センター		4				4
しあわせキャリア支援センター		1				1
合計		608	3,131	787	75	4,601

7. 学生数

令和元年5月1日現在

		定員	現員	充足率		
日本医科大学	医学部	医学部1年	121	124	102.5%	
		医学部2年	121	135	111.6%	
		医学部3年	118	118	100.0%	
		医学部4年	116	113	97.4%	
		医学部5年	114	120	105.3%	
		医学部6年	114	115	100.9%	
		医学部合計	704	725	103.0%	
	大学院	大学院1年	70	49	70.0%	
		大学院2年	70	37	52.9%	
		大学院3年	70	40	57.1%	
大学院4年		70	54	77.1%		
	大学院合計	280	180	64.3%		
日本獣医生命科学大学	獣医学部	獣医学科1年	80	80	100.0%	
		獣医学科2年	80	94	117.5%	
		獣医学科3年	80	102	127.5%	
		獣医学科4年	80	94	117.5%	
		獣医学科5年	80	93	116.3%	
		獣医学科6年	80	101	126.3%	
		小計	480	564	117.5%	
	応用生命科学部	獣医保健看護学科1年	100	100	100.0%	
		獣医保健看護学科2年	100	96	96.0%	
		獣医保健看護学科3年	100	122	122.0%	
		獣医保健看護学科4年	100	96	96.0%	
			小計	400	414	103.5%
			獣医学部合計	880	978	111.1%
	日本獣医生命科学大学	動物科学部	動物科学科1年	100	101	101.0%
動物科学科2年			100	101	101.0%	
動物科学科3年			100	96	96.0%	
動物科学科4年			100	93	93.0%	
		小計	400	391	97.8%	
食品科学部		食品科学科1年	90	93	103.3%	
		食品科学科2年	90	87	96.7%	
		食品科学科3年	80	90	112.5%	
		食品科学科4年	80	86	107.5%	
			小計	340	356	104.7%
		応用生命科学部合計	740	747	100.9%	
	学部合計	1,620	1,725	106.5%		
日本医科大学 看護専門学校	大学院	獣医学専攻博士課程1年	8	6	75.0%	
		獣医学専攻博士課程2年	8	10	125.0%	
		獣医学専攻博士課程3年	8	8	100.0%	
		獣医学専攻博士課程4年	8	9	112.5%	
		小計	32	33	103.1%	
	看護学部	獣医保健看護学専攻博士前期課程1年	5	4	80.0%	
		獣医保健看護学専攻博士前期課程2年	5	7	140.0%	
		獣医保健看護学専攻博士後期課程1年	2	2	100.0%	
		獣医保健看護学専攻博士後期課程2年	2	1	50.0%	
		獣医保健看護学専攻博士後期課程3年	2	2	100.0%	
			小計	16	16	100.0%
	看護学部	応用生命科学専攻博士前期課程1年	7	6	85.7%	
		応用生命科学専攻博士前期課程2年	7	13	185.7%	
		応用生命科学専攻博士後期課程1年	2	1	50.0%	
		応用生命科学専攻博士後期課程2年	2	0	0.0%	
		応用生命科学専攻博士後期課程3年	2	0	0.0%	
		小計	20	20	100.0%	
	大学院合計	68	69	101.5%		
看護学部	看護学科1年	80	84	105.0%		
	看護学科2年	80	85	106.3%		
	看護学科3年	80	73	91.3%		
		看護学科合計	240	242	100.8%	

8. 入試状況・国家試験・学位授与

(1) 令和2年度入学者入試状況

(単位：人)

学校名	学部・学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
日本医科大学	医学部	4,118	3,720	234	126	
	大学院	52	51	51	51	
日本獣医 生命科学大学	獣医学部	獣医学科	2,159	1,984	261	80
		獣医保健看護学科	704	678	276	100
		小計	2,863	2,662	537	180
	応用生命 科学部	動物科学科	605	590	353	100
		食品科学科	349	329	321	71
		小計	954	919	674	171
学部合計		3,817	3,581	1,211	351	
日本医科大学 看護専門学校	獣医学専攻	4	4	3	3	
	大学院	4	3	3	3	
	獣医生命科学 研究科	0	0	0	0	
	獣医保健看護学専攻博士前期課程	4	3	3	3	
	獣医保健看護学専攻博士後期課程	0	0	0	0	
応用生命科学専攻博士前期課程	9	9	9	9		
応用生命科学専攻博士後期課程	0	0	0	0		
大学院合計		17	16	15	15	
日本医科大学 看護専門学校	看護学科	311	283	87	80	

(2) 令和2年(114回)医師国家試験[日本医科大学]

	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均(%)
現役	108	106	98.1	94.9
既卒	6	5	83.3	69.2
合計	114	111	97.4	92.1

(3) 令和2年(71回)獣医師国家試験[日本獣医生命科学大学]

	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均(%)
現役	95	92	96.8	94.2
既卒	13	2	15.4	48.0
合計	108	94	87.0	86.5

(4) 令和2年(109回)看護師国家試験[日本医科大学看護専門学校]

	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均(%)
現役	68	65	95.6	94.7
既卒	7	1	14.3	37.4
合計	75	66	88.0	89.2

(5) 学位授与

学校名	学部・学科	学位授与数(人)	卒業・修業者数(人)
日本医科大学	医学部	108	108
	獣医学部	100	100
日本獣医 生命科学大学	獣医学部	獣医学科	100
		獣医保健看護学科	95
		小計	195
	応用生命 科学部	動物科学科	90
		食品科学科	85
		小計	175
学部合計		370	370
日本医科大学看護専門学校	看護学科	—	68

9. 卒業生の進路

(1) 日本医科大学・日本医科大学看護専門学校

(単位：人)

学校名	大学院・学部・学科	進路	人数
日本医科大学	医学部	初期臨床研修 (日本医科大学附属4病院)	54
		初期臨床研修 (その他医療機関)	52
		その他	2
	大学院 医学研究科	大学・研究機関	0
		医療機関	30
日本医科大学 看護専門学校	看護学科	その他	1
		日本医科大学附属4病院	56
		その他医療機関	9
		その他	3

(2) 日本獣医生命科学大学

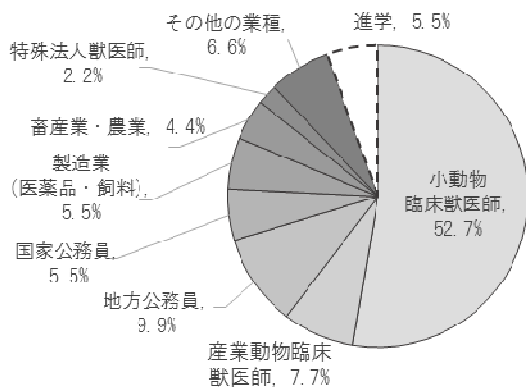
(単位：人)

大学院・学部	学科・研究科	卒業生	進学	就職希望者	就職内定者	内定率	その他
獣医学部	獣医学科	100	5	87	86	98.9%	8
	獣医保健看護学科	95	4	87	86	98.9%	4
応用生命科学部	動物科学科	90	7	74	74	100.0%	9
	食品科学科	85	6	75	75	100.0%	4
大学院	獣医生命科学研究科	29	1	17	17	100.0%	11

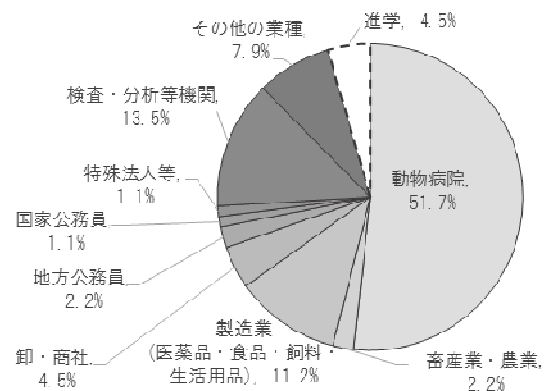
* 学科別進路・就職先

■ 就職 [---] 進学

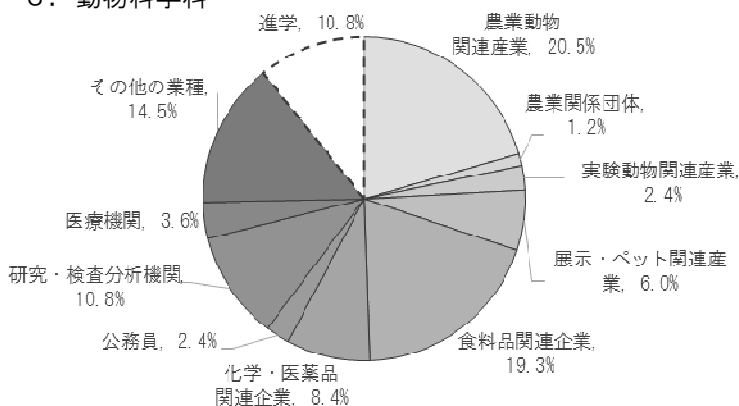
1. 獣医学科



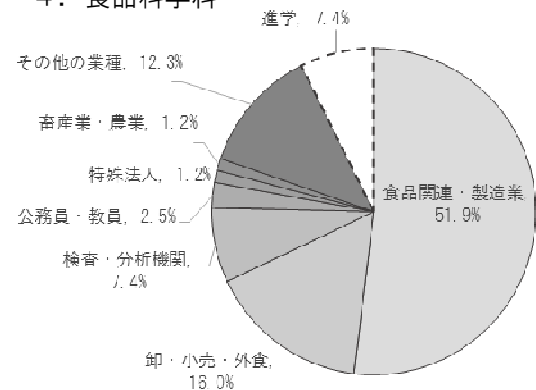
2. 獣医保健看護学科



3. 動物科学科



4. 食品科学科



10. 国際交流活動

(1) 外国人留学生受入者数

(単位：人)

日本医科大学	総受入	新規受入	日本獣医生命科学大学	総受入	新規受入
中華人民共和国	25	24	中華人民共和国	1	0
台湾	6	6	台湾	7	5
タイ王国	10	10	大韓民国	3	3
アメリカ合衆国	3	3	タイ王国	9	9
イギリス	3	3	イギリス	1	1
ベトナム社会主義共和国	1	0	バングラデシュ人民共和国	1	0
インドネシア共和国	2	2	オーストラリア	1	1
オーストラリア	6	6	マレーシア	1	0
エジプト	1	0	合計	24	19
ニュージーランド	1	1			
フィリピン	1	1			
スウェーデン王国	1	1			
ヨルダン・ハシミテ王国	1	1			
イタリア共和国	1	1			
オーストリア共和国	1	1			
フィンランド共和国	1	1			
クロアチア共和国	1	1			
合計	65	62			

(2) 協定校からの外国人留学生受入者数

(単位：人)

日本医科大学	日本獣医生命科学大学
西安交通大学	チェンマイ大学
2	1
チェンマイ大学	クイーンズランド大学
2	1
タマサート大学	中興大学
8	4
浙江警察学院	忠南大学
4	2
哈尔滨医科大学	カセサート大学
1	3
中国医科大学	コンケン大学
4	5
合計	合計
21	16

(3) 短期留学者数

(単位：人)

日本医科大学	日本獣医生命科学大学
南カリフォルニア大学	クイーンズランド大学
2	107
ハワイ大学	マッセイ大学
1	1
中国医科大学	中興大学
1	1
チェンマイ大学	全南大学
8	1
タマサート大学	忠南大学
8	1
米国国立衛生研究所 (NIH)	タイ3校 (チェンマイ、カセサート、コンケン)
3	20
ピッツバーグ大学	合計
1	131
浙江警察学院	
5	
合計	
29	

II. 事業の概要

所属	事業報告
法人全体	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度事業計画 実行の検証、成果の確認を行った。 2. 医療系・健康科学系の学部学科等設置計画 新たな学部学科の設置形態、地区、規模等について、調査、検証を行った。 3. 多摩永山地区再開発 新病院建設候補地について、多摩市との協議を行った。 4. 日本医科大学 <ol style="list-style-type: none"> ① LMS（学習管理運営システム）の利用、東京理科大学との高性能アンドロイドの研究開発等、教育体制の充実を図った。 ② 千葉北総地区に日本医科大学大学院棟（法医学）を施工した。 5. 日本獣医生命科学大学 <ol style="list-style-type: none"> ① 獣医学教育及び国際認証の受審等への取組みを推進した。 ② オリジナルコンビーフ、発酵バター入りニチジュウコンビーフの販売、国際基準に準拠した動物飼育施設への改善等を実施した。 ③ 学内の若手研究者支援事業、生命科学総合研究センターの組織改組の準備を実施した。 6. 2大学の連携 <ol style="list-style-type: none"> ① 図書館システムの統合、共同研究契約書の雛形の統一を行った。 ② 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択された。 7. 看護専門学校 学修支援システムの改良、体育館（建物、屋根）の修繕等、効率的な運営改善を実施した。 8. 千駄木地区アクションプラン 21 既存棟の解体工事に先立つ準備工事として各種インフラ施設の盛替、旧病院、校舎建物の解体工事等を実施した。 9. 武蔵小杉キャンパス再開発プロジェクト 新武蔵小杉病院の建設工事、周辺街区整備工事を実施した。 10. 千葉北総病院における医療圏拡大戦略 成田国際空港クリニックの歯科開設、近隣の連携医療機関医の訪問等を実施した。
日本医科大学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学力の3要素を、より多面的・総合的に評価するため、AO（アドミッション・オフィス）入試を新設した。また、地域卒の募集を別枠入試として実施した。 2. 収容定員に係る学則変更の認可申請を行った。収容定員に関する学則変更が認可され、令和2年度入学定員は126名となった。 3. 4年生からWeb講座を開始し、サポートが必要な学生には特別講義・夏季合宿等を行った。 4. 共同研究施設の再構築及び先端医学研究所各部門の受け入れのための改修工事を実施した。

II. 事業の概要

所属	事業報告
日本医科大学	<ol style="list-style-type: none"> 5. 関東がん専門医療人養成拠点において主として活動を行っている筑波大学と連携し、本学の大学院での教育プログラムにて履修が出来るよう進めた。また、東京理科大学との合同シンポジウム開催、東京理科大学・早稲田大学との共同研究プロジェクト及び東京理科大学・早稲田大学から迎えた客員教授を中心とした大学院講義による教育、共同研究を推進した。 6. 高等学校における「総合的学習の時間」での大学研修について、前年度受入校に大学案内及び入試要項、オープンキャンパス等の広報を行った。 7. 教育の質の向上と活性化のため、洗足学園高等学校との連携の手続きを進めた。
日本獣生命科学大学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老朽化している建物の耐震補強工事並びに建て替えの検討を開始した。 2. 1号棟を歴史的建物として申請した（令和2年4月登録有形文化財（建造物）登録）。 3. オフィスアワーに関する学生アンケート結果及び各学科における「リメディアル教育」に関する調査結果に基づき、学外講師による集中授業、大学院生による履修相談等について教務委員会で検討を進めた。学生が参画する授業改善のためのFDを実施し、意見交換を行った。 4. 「学生の参画するFDワークショップ」の実施結果を踏まえ、授業アンケートの設問を変更した。 5. 学生部主催の「人権教育ワークショップ」や学生相談室として年3回のワークショップを実施し、学生支援の充実を継続して実施した。 6. 特色ある研究プロジェクトとして合計16件採択した。 7. 12月6日ニチジュウシンポジウム2019を開催し、教員や学生、職員が「研究者」同士として垣根を越えて交流し、それぞれのテーマに関して議論や意見交換を行った。 8. 平成30年度特色ある研究プロジェクトの選定基準を検証し、若手研究者（講師・助教）採択比率を37.0%から43.8%に高めた。 9. 受験生イベント総来場者数 <ol style="list-style-type: none"> ① オープンキャンパス等学内受験生イベント（全7回）：5,762名（平成30年度5,462名） ② 学外進学相談会（全国18会場）：572名（平成30年度564名） 10. 専任教員による高校等102校への訪問、アドミッションコーディネーターによる本学への志願実績のない高校を含む161校への訪問等を展開し本学の認知向上を図った。
看護専門学校	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己点検・自己評価委員会の活動として、常勤教員担当の全科目及び全実習について、学生及び教員による評価を実施した。 2. 高等教育の修学支援新制度の利用可能な学校として要件の確認を受けた。 3. 学校祭にて、公益財団法人日本盲導犬協会から盲導犬ユーザーと支援者を招き、実演を含む講演会を実施した。 4. 地域の協力を得て、冬季休業前に全学年が参加して餅つき大会を行い、国家試験の必勝を祈願した。 5. 「学修支援システム」を改良し、個々の学生による成績閲覧システムを整備した。

II. 事業の概要

所属	事業報告
付属病院	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規医療技術を医療機関に紹介するとともにダヴィンチ手術の拡大を図った。 2. 病院機能評価一般病院3受審準備を行った。 3. 東館3階及び東館2階-1及び東館2階-2の無差額室を増床した。 4. SCU8床をS-HCUに移転し、CCMの患者受入れ体制を強化した。 5. 退院決定情報の早期入力による予約入院を効率化した。
武蔵小杉病院	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急患者を断らない体制を強化するため、院内の会議、委員会にて問題点を協議した。 2. 各種バスに車体側面広告を掲載した。 3. ドクターズファイル(頼れるドクター)を活用した。
多摩永山病院	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月より401床稼働した。 2. 病棟の改修工事を終了し、4床増床の体制を整えた。
千葉北総病院	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドクターヘリとラピッドカーの運用による早期の医療介入を実施し、救命の可能性を高めた。 2. 輸液療法室に予約枠を設けた。また、化学療法中の合併症を予防するため、化学療法患者の口腔機能管理を行った。 3. 令和2年2月にジャパンインターナショナルホスピタルズ(JIH)更新を行った。
腎クリニック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 付属病院の関係する診療科と連携し、血液透析、特殊血液浄化療法、腹膜透析の患者受入れを積極的に行った。
呼吸ケアクリニック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前のアポイントメントで訪問を断られるケースが多く、目標には及ばなかった。但し、こうした施設についても当クリニックの新たなリーフレットを送付して、受け入れ態勢が万全である旨、周知を図った。 2. 呼吸器内科領域における専門外来を開設し、受診者ならびに医療関係者へ周知した。
健診医療センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. PETカメラの新機種導入を行い、11月から本格稼働となった。
ワクチン療法研究施設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雑誌等に免疫療法についての記事を掲載した。 2. 運用面に配慮した施設改修と電子カルテ導入等効率化を実現した。
成田国際空港クリニック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年6月より、歯科診療を開始した。
先端医学研究所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎医学大学院棟内の移設場所を決定した。
国際交流センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. タイ王国・救急医療庁が付属病院と千葉北総病院を視察し、交流を積極的に進めた。 2. 南カリフォルニア大学と情報交換等を行った。 3. 国際交流センター長らがハワイ大学を訪問し、会合を開催した。 4. チェンマイ大学医学部創立60周年記念式典に出席(訪問)し、高等教育国際フォーラムにて医学部長と国際交流センター長が講演した。また、タマサート大学医学部長を表敬訪問した。 5. 浙江警察学院創立70周年記念式典に出席した。 6. International Research Conferenceを開催し、外国人留学者及び海外留学を経験した本学学生に発表する機会を設けた。

II. 事業の概要

所属	事業報告
知的財産推進センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知的財産権の評価、維持活動を行うとともに、知的財産評価基準の見直しを行い、現行の基準を改定する必要がないことを確認した。 2. 第 25 回知的財産審議委員会において知的財産戦略の見直しについて審議した。 3. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の Web サイト型のマッチング支援システム「AMED ぷらっと」などを活用して、研究成果の実用化のための活動を行った。 4. 日本医科大学、日本獣医生命科学大学の研究推進課と連携して、契約確認業務、研究マネジメント業務を行った。 5. 共同研究契約書の雛形及び共同研究申込書について、日本医科大学、日本獣医生命科学大学の研究推進課、法人本部総務部法務課と連携して見直しを図り、法人として統一した様式を作成した。
ICT 推進センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学における ICT のさらなる活用推進に向け、PC 教室及び AV 機器の更新等の 3 か年計画を実行するとともに、令和元年度からの 3 か年計画を再考した。 2. 4 病院における電子カルテの更新・導入計画とこれに伴う部門システム更新を実行した。 3. 2 大学及び 4 病院のシステム統一を図るため、業者の選定を進めた。
研究統括センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千駄木地区に倫理審査システムを導入した。大学・付属病院倫理委員会及び付属病院薬物治験審査委員会への申請がシステムから申請可能になった。 2. 総務部法務課と連携を図り、研究契約の確認を行った。 3. 名古屋議定書関連の規程を整備した。 4. 利益相反マネジメント委員会事務局として、利益相反マネジメントに関する業務実施した。 5. 日本医科大学、日本獣医生命科学大学における研究不正防止関連規則を修正した。
しあわせキャリア支援センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. （日医大・日獣大共通）研究支援員の募集をホームページ上で行った。 2. （日医大・日獣大共通）教員・研究者に対し、「学校法人日本医科大学におけるワーク・ライフ・バランス等に関する調査」と題し、50 項目の設問を設定した Web アンケートを実施した。 3. （日医大・日獣大共通）マザーネット（ベビーシッター派遣病児保育支援事業）利用案内をホームページに掲載した。 4. （日医大）若手女性医師・研究者交流会を開催した。 5. （日獣大）教職員及び学生向けワーク・ライフ・バランスに関する講演会を実施した。

Ⅲ 財務の概要

1. 令和元年度決算の概要

- ◆基本金組入前事業活動収支差額は、19.1億円の収入超過となり、予算対比では11.6億円上回った。
- ◆事業活動収支の収入面について、医療収入の予算は前年度実績を22億円で上回る838億円であったが合計で848億円と予算を10億円上回った。前年度対比では32億円の増加で、増加率は3.9%であった。経常費等の補助金は43億円と前年度より1億円増加した。その他の収入では受託事業収入が19億円と予算を2億円上回った。その結果、事業活動収入合計は1,016億円と予算を14億円上回った。
- ◆事業活動収支の支出面については、人件費は431億円となり前年度より17億円増加したが、予算の範囲内となった。また、医療経費を除く教育研究経費と管理経費の合計では、予算対比マイナス21億円と大幅な節減となった。医療経費は高額薬品の院内処方増加により予算を24億円上回り、医療経費率は37.4%と前年度対比1.8%の増加となった。特別支出では、資産処分差額として図書や設備の除却で1.5億円を計上した。その結果、事業活動支出合計は997億円と予算に対し3億円の減少となった。
- ◆資金面では、キャッシュフローの改善と設備・施設の抑制により、年度末借入金残高は498億円と前年度より30億円減少した。
- ◆施設・設備関係の主な実施案件は、日本医科大学大学院棟(法医学)新築工事、武蔵小杉病院新築工事(アムニティ棟を含む建設仮勘定)、千葉北総病院アムニティ棟新築工事および医療情報システム(教研用機器備品)である。

(1) 貸借対照表
令和2年3月31日

単位：百万円

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	103,729	104,525	△ 796
有形固定資産	102,365	103,160	△ 796
特定資産	58	58	0
その他の固定資産	1,307	1,307	0
流動資産	25,481	25,154	327
資産の部合計	129,210	129,678	△ 468
固定負債	55,609	62,042	△ 6,433
流動負債	32,003	27,949	4,054
負債の部合計	87,613	89,991	△ 2,379
基本金	193,258	185,670	7,588
繰越収支差額	△ 151,661	△ 145,983	△ 5,677
純資産の部合計	41,597	39,687	1,910
負債及び純資産の部合計	129,210	129,678	△ 468

(2) 資金収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

単位：百万円

科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生等納付金収入	6,419	6,432	△ 13	人件費支出	42,468	42,751	△ 283
手数料収入	347	333	14	教育研究経費支出	43,425	44,991	△ 1,566
寄付金収入	802	656	146	(医療経費支出)	(29,375)	(31,852)	(△ 2,478)
補助金収入	4,380	4,420	△ 40	管理経費支出	5,803	4,805	998
資産売却収入	0	28	△ 28	借入金利息支出	582	555	27
付随事業・収益事業収入	2,605	2,733	△ 128	借入金返済支出	10,575	10,500	75
医療収入	83,817	84,865	△ 1,048	施設関係支出	3,260	1,849	1,410
受取利息・配当金収入	3	3	0	設備関係支出	6,108	3,537	2,571
雑収入	1,806	2,121	△ 315	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	8,000	7,500	500	その他の支出	23,913	31,530	△ 7,616
その他の収入	32,596	33,998	△ 1,402	[予備費支出]	110		110
資金収入調整勘定	△ 17,949	△ 16,970	△ 979	資金支出調整勘定	△ 11,758	△ 13,965	2,207
前年度繰越支払資金	8,836	8,836	0	翌年度繰越支払資金	7,175	8,400	△ 1,225
収入の部合計	131,662	134,954	△ 3,292	支出の部合計	131,662	134,954	△ 3,292

(3) 事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

単位：百万円

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	6,419	6,432	△ 13
手数料	347	333	14
寄付金	608	596	12
経常費等補助金	4,192	4,319	△ 127
付随事業収入	2,605	2,733	△ 128
医療収入	83,817	84,865	△ 1,048
雑収入	1,806	2,125	△ 319
教育活動収入計	99,793	101,402	△ 1,609
事業活動支出の部			
人件費	43,137	43,137	△ 0
教育研究経費	49,470	50,743	△ 1,273
(医療経費)	(29,375)	(31,755)	(△ 2,380)
管理経費	5,993	4,974	1,019
徴収不能額等	15	86	△ 71
教育活動支出計	98,614	98,940	△ 326
教育活動収支差額	1,179	2,461	△ 1,283
教育活動外収入の部			
受取利息・配当金	3	3	0
教育活動外収入計	3	3	0
教育活動外支出の部			
借入金等利息	582	555	27
教育活動外支出計	582	555	27
教育活動外収支差額	△ 580	△ 553	△ 27
経常収支差額	599	1,909	△ 1,310

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	△ 0
その他の特別収入	404	232	172
特別収入計	404	232	172
事業活動支出の部			
資産処分差額	143	150	△ 7
その他の特別支出	0	80	△ 80
特別支出計	143	230	△ 87
特別収支差額	261	2	260
[予備費]	110		110
基本金組入前当年度収支差額	750	1,910	△ 1,160
基本金組入額合計	△ 9,329	△ 7,590	△ 1,739
当年度収支差額	△ 8,579	△ 5,680	△ 2,899
前年度繰越収支差額	△ 145,983	△ 145,983	0
基本金取崩額	0	3	△ 3
翌年度繰越収支差額	△ 154,562	△ 151,661	△ 2,901
(参考)			
事業活動収入計	100,200	101,636	△ 1,436
事業活動支出計	99,450	99,726	△ 276

- ◆科目ごとに百万円未満を四捨五入処理のため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。
- ◆本法人の計算書類は、私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準」に従って作成しています。

2. 財務状況の推移

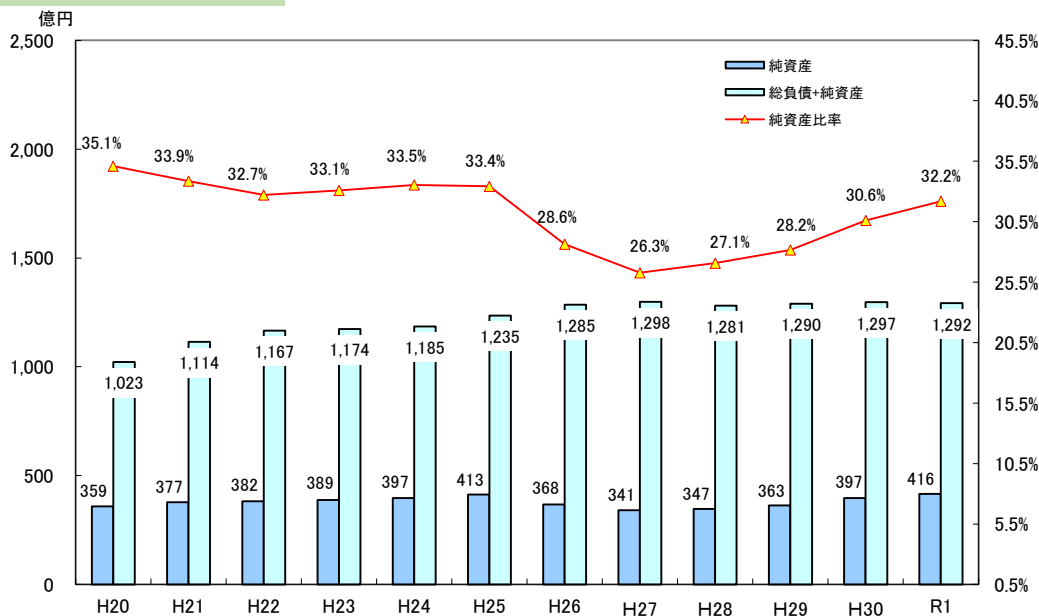
(1) 貸借対照表

* 資産の部、負債の部、純資産の部に区分され会計年度末の財政状況を表す計算書

(単位：百万円)

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
固定資産	106,568	101,522	103,745	104,525	103,729
流動資産	23,220	26,592	25,293	25,154	25,481
資産の部合計	129,788	128,114	129,038	129,678	129,210
固定負債	68,155	66,960	67,603	62,042	55,609
流動負債	27,505	26,478	25,106	27,949	32,003
負債の部合計	95,659	93,437	92,709	89,991	87,613
基本金	175,252	175,626	177,445	185,670	193,258
繰越収支差額	△ 141,124	△ 140,949	△ 141,116	△ 145,983	△ 151,661
純資産の部	34,129	34,677	36,329	39,687	41,597
負債及び純資産の部合計	129,788	128,114	129,038	129,678	129,210

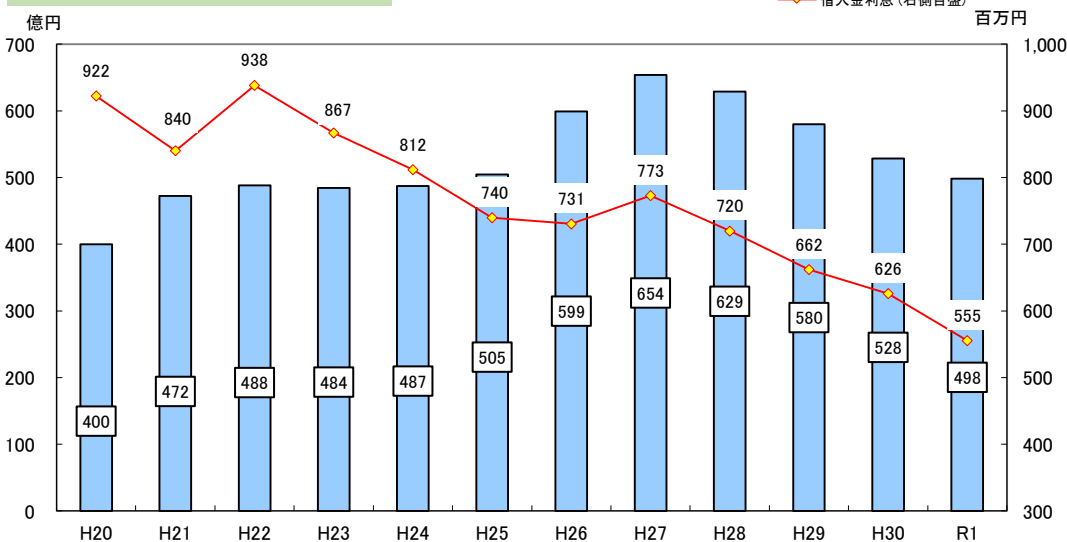
純資産構成比率の推移



純資産構成比率 算出方法：純資産/(総負債+純資産)

・学校法人の資金調達状況を表す指標。純資産は外部返済の必要のない法人に完全に帰属する資金の総額を示すものであり、この比率が高ければ負債に依存しない経営を行っていると考えられる。

借入金残高と借入金利息の推移



(2) 収支計算書

①資金収支計算書

* 会計年度の現預金の動きとその内容を表している計算書

(単位：百万円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生等納付金収入	6,447	6,499	6,524	6,447	6,432
手数料収入	250	314	337	369	333
寄付金収入	586	1,063	774	1,025	656
補助金収入	4,560	4,847	4,459	4,388	4,420
資産売却収入	0	1,351	121	0	28
付随事業・収益事業収入	2,189	2,256	2,571	2,707	2,733
医療収入	73,019	74,774	78,296	81,640	84,865
受取利息・配当金収入	3	2	3	3	3
雑収入	1,481	1,485	1,919	2,374	2,121
借入金等収入	18,950	14,800	10,800	4,500	7,500
その他の収入	27,397	32,426	33,364	34,523	33,998
資金収入調整勘定	△ 15,793	△ 16,568	△ 16,628	△ 16,606	△ 16,970
前年度繰越支払資金	3,042	7,937	10,557	9,300	8,836
収入の部合計	122,133	131,187	133,097	130,669	134,954
人件費支出	39,761	39,488	40,911	41,083	42,751
教育研究経費支出	37,223	38,184	40,168	42,315	44,991
(医療経費支出)	(25,366)	(26,098)	(27,402)	(29,237)	(31,852)
管理経費支出	5,600	5,580	4,826	4,836	4,805
借入金利息支出	773	720	662	626	555
借入金返済支出	13,496	17,290	15,690	9,658	10,500
施設関係支出	1,316	1,530	4,611	3,533	1,849
設備関係支出	1,739	1,189	4,066	3,348	3,537
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	24,701	27,231	27,611	30,307	31,530
資金支出調整勘定	△ 10,413	△ 10,581	△ 14,748	△ 13,873	△ 13,965
翌年度繰越支払資金	7,937	10,557	9,300	8,836	8,400
支出の部合計	122,133	131,187	133,097	130,669	134,954

②活動区分資金収支計算書

* 資金収支計算書の決算額を3つの活動区分ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを表す計算書 (単位：百万円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	88,024	90,104	94,393	98,331	101,395
教育活動資金支出計	82,441	83,201	85,635	88,233	92,545
差引	5,584	6,903	8,758	10,098	8,851
調整勘定等	△ 390	26	391	37	△ 625
教育活動資金収支差額	5,194	6,929	9,149	10,135	8,226
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	506	2,477	594	610	190
施設整備等活動資金支出計	3,056	2,719	8,677	6,881	5,386
差引	△ 2,549	△ 241	△ 8,082	△ 6,270	△ 5,197
調整勘定等	△ 2,402	△ 690	3,502	1,410	96
施設整備等活動資金収支差額	△ 4,952	△ 931	△ 4,580	△ 4,860	△ 5,101
小 計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	242	5,998	4,569	5,275	3,125
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	31,406	31,460	27,821	21,306	24,720
その他の活動資金支出計	26,749	34,842	33,581	27,042	28,273
差引	4,656	△ 3,382	△ 5,760	△ 5,736	△ 3,553
調整勘定等	△ 3	4	△ 65	△ 4	△ 8
その他の活動資金収支差額	4,653	△ 3,378	△ 5,825	△ 5,739	△ 3,561
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)	4,895	2,620	△ 1,257	△ 465	△ 436
前年度繰越支払資金	3,042	7,937	10,557	9,300	8,836
翌年度繰越支払資金	7,937	10,557	9,300	8,836	8,400

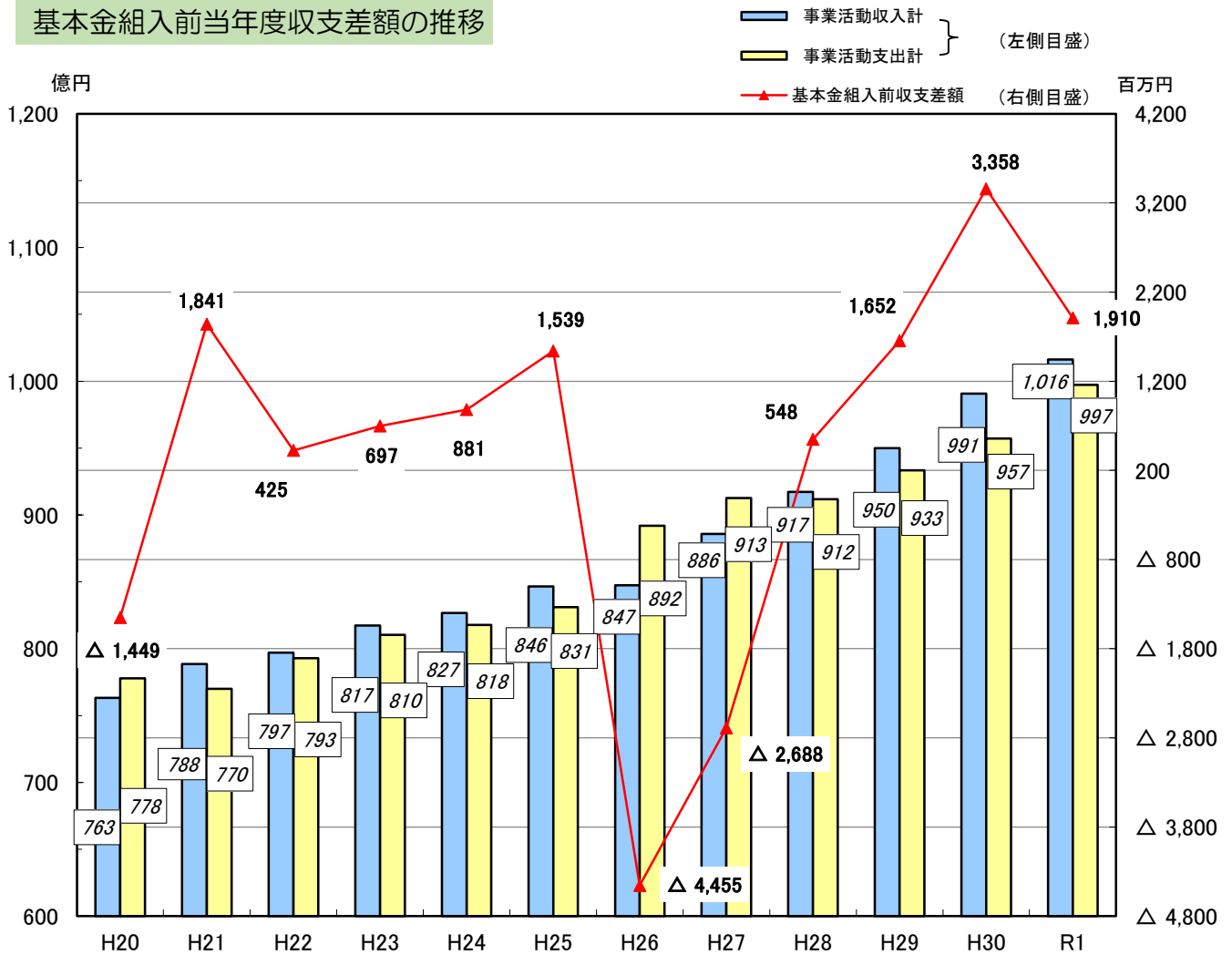
③事業活動収支計算書

* 会計年度の実質的に損益となる収入・支出の内容を3区分して経営状況を表す計算書

(単位：百万円)

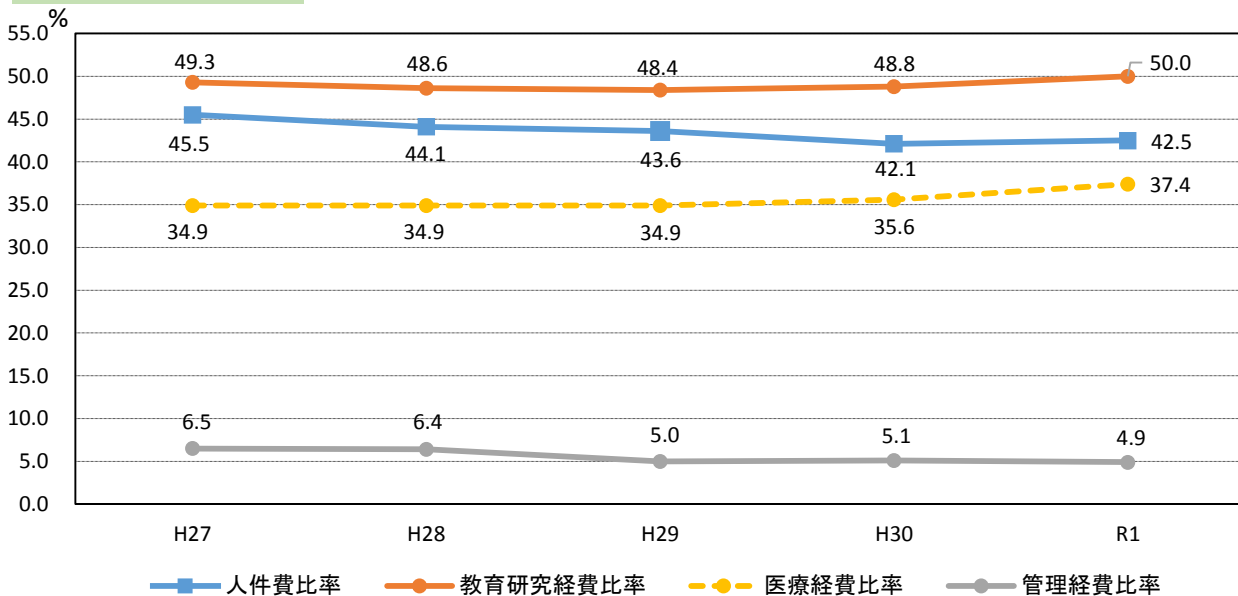
科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動収支	事業活動収入の部				
学生生徒等納付金	6,447	6,499	6,524	6,447	6,432
手数料	250	314	337	369	333
寄付金	521	678	709	567	596
経常費等補助金	4,119	4,106	4,051	4,236	4,319
付随事業収入	2,189	2,256	2,571	2,707	2,733
医療収入	73,019	74,774	78,296	81,640	84,865
雑収入	1,478	1,477	1,906	2,366	2,125
教育活動収入計	88,024	90,104	94,394	98,331	101,402
教育活動収支	事業活動支出の部				
人件費	40,078	39,722	41,139	41,446	43,137
教育研究経費	43,412	43,780	45,711	47,995	50,743
(医療経費)	(25,453)	(26,072)	(27,351)	(29,080)	(31,755)
管理経費	5,709	5,743	4,735	5,019	4,974
徴収不能額等	90	101	158	112	86
教育活動支出計	89,290	89,346	91,742	94,573	98,940
教育活動収支差額	△ 1,266	758	2,652	3,758	2,461
教育活動外収支	事業活動収入の部				
受取利息・配当金	3	2	3	3	3
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	3	2	3	3	3
教育活動外収支	事業活動支出の部				
借入金等利息	773	720	662	626	555
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	773	720	662	626	555
教育活動外収支差額	△ 770	△ 717	△ 659	△ 623	△ 553
経常収支差額	△ 2,035	40	1,993	3,135	1,909
特別収支	事業活動収入の部				
資産売却差額	0	391	24	0	0
その他の特別収入	559	1,225	572	731	232
特別収入計	559	1,616	596	731	232
特別収支	事業活動支出の部				
資産処分差額	1,060	1,047	649	353	150
その他の特別支出	152	61	288	155	80
特別支出計	1,212	1,108	937	508	230
特別収支差額	△ 653	508	△ 341	223	2
基本金組入前当年度収支差額	△ 2,688	548	1,652	3,358	1,910
基本金組入額合計	△ 4,788	△ 1,256	△ 2,623	△ 8,229	△ 7,590
当年度収支差額	△ 7,476	△ 707	△ 971	△ 4,871	△ 5,680
前年度繰越収支差額	△ 133,648	△ 141,124	△ 140,949	△ 141,116	△ 145,983
基本金取崩額	0	882	805	4	3
翌年度繰越収支差額	△ 141,124	△ 140,949	△ 141,116	△ 145,983	△ 151,661
(参考)					
事業活動収入計	88,587	91,723	94,993	99,065	101,636
事業活動支出計	91,275	91,174	93,341	95,707	99,726

基本金組入前当年度収支差額の推移



- ①H26年度⇒武蔵境キャンパスの合同教育棟の建設竣工。新付属病院建設及びオープンにかかる一時的費用の増加
- ②H29年度⇒H23年から建設を進めてきたアクションプラン21新付属病院のフルオープン
- ③H30年度⇒武蔵小杉キャンパス再開発プロジェクトの新武蔵小杉病院の建設スタート

主要な経費比率推移



3. 主な財務比率

区 分	比率について	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
算出方法						
活動区分資金収支計算書関係						
教育活動資金収支差額比率	学校法人における本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出しているか。 <u>プラスであることが望ましい。</u>	5.9%	7.7%	9.7%	10.3%	8.1%
教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計						
事業活動収支計算書関係						
人件費比率	<u>高い値は好ましくないが</u> 、教育研究研究条件等に配慮しながら実態に適した水準を維持する必要がある。	45.5%	44.1%	43.6%	42.1%	42.5%
人件費／経常収入						
教育研究経費比率	附属病院の医療経費も含まれるが、教育活動の維持・充実のため収支均衡を失わない範囲で <u>高いほうが望ましい。</u>	49.3%	48.6%	48.4%	48.8%	50.0%
教育研究経費／経常収入						
管理経費比率	学校法人の運営のため、ある程度の支出はやむを得ないものの、 <u>低いほうが望ましい。</u>	6.5%	6.4%	5.0%	5.1%	4.9%
管理経費／経常収入						
事業活動収支差額比率	<u>プラスで大きいほど良く</u> 、自己資金が充実し財政面での将来的な余裕につながる。	△ 3.0%	0.6%	1.7%	3.4%	1.9%
基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入						
学生生徒等納付金比率	補助金や寄付金と比べて外部要因に影響されることが少ない自己財源で、 <u>安定的に推移することが望ましい。</u>	7.3%	7.2%	6.9%	6.6%	6.3%
学生生徒等納付金／経常収入						
寄付金比率	寄付金には特別収支の施設設備寄付金と現物寄付も含まれるが、一定水準の寄付金を <u>継続して確保することに努める。</u>	0.7%	1.3%	0.9%	1.1%	0.6%
寄付金／事業活動収入						
補助金比率	補助金には施設設備補助金も含まれるが、補助金の獲得努力の成果を示す指標となり、 <u>増加が期待されるが</u> 、比率が高い場合は補助金政策の動向に影響を受けやすい。	5.1%	5.3%	4.7%	4.4%	4.2%
補助金／事業活動収入						
経常収支差額比率	経常的な収支バランスを表すもので、 <u>高いほうが良い。</u>	△ 2.3%	0.0%	2.1%	3.2%	1.9%
経常収支差額／経常収入						
貸借対照表関係						
流動比率	短期的な支払い能力で、 <u>高いほうが良い</u> が100%を切っている場合は流動負債を固定資産に投下していることが多い。	84.4%	100.4%	100.7%	90.0%	79.6%
流動資産／流動負債						
総負債比率	一般的に <u>低いほど望ましく</u> 、100%を超えるといわゆる債務超過であることを示す。	73.7%	72.9%	71.8%	69.4%	67.8%
総負債／総資産						
純資産構成比率	学校法人の資金調達状況を分析する上で、最も概括的で重要な指標。 <u>高いほど良い。</u>	26.3%	27.1%	28.2%	30.6%	32.2%
純資産／（総負債＋純資産）						
基本金比率	<u>100%に近いことが望ましく</u> 、100%に近いほど未組入（借入金や未払金による資産の取得）が少ないことを示す。	90.6%	91.5%	90.8%	91.8%	92.8%
基本金／基本金要組入額						
積立率	学校法人の経営を長期的に継続するために必要な運用資産の保有状況を表す。一般的に <u>高いほうが望ましい。</u>	8.8%	11.1%	9.3%	8.3%	7.5%
運用資産／要積立額						
前受金保有率	前受金が翌年度繰越の現預金に適切に保有されているかを測る。一般的に100%を超え、 <u>高いほうが良い</u> とされている。	556.7%	716.0%	698.8%	320.5%	264.0%
現金預金／前受金						
運用資産余裕比率（単位：年）	<u>高いほうが良い。</u> この比率が1.0を超えていると、1年間の経常支出を運用資産のみで賄える資金を持つことを意味する。	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6
（運用資産－外部負債）／経常支出						

・ 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・ 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

・ 総負債＝固定負債＋流動負債

・ 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・ 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

・ 外部負債＝借入金＋学校債＋未払金

4. その他

(1) 令和元年度末現在 借入金の状況

借入先	期末残高（百万円）	利率	返済期限
日本私立学校振興 ・共済事業団	10,429	0.500% ～2.400%	令和元年9月 ～令和15年9月
独立行政法人 福祉医療機構	105	1.800%	令和6年5月
市中金融機関	24,974	0.469% ～1.190%	令和2年12月 ～令和10年2月
計（長期借入金）	35,508		

(2) 令和元年度末現在 有価証券の状況

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
株式	60,553千円	60,553千円	0
時価のない有価証券	255,580千円	—	—
合計	316,133千円		

(3) 令和元年度末現在 寄付金の状況

種類	金額
教育活動収入にかかる寄付金 (施設設備寄付金以外の寄付金)	595,734千円
特別収入にかかる施設設備寄付金 (施設設備の拡充等のための寄付金)	60,360千円
特別収入にかかる現物寄付金 (施設設備にかかる現物寄付)	59,261千円

(4) 令和元年度末現在 補助金の状況

種類	金額
教育活動収入にかかる補助金 (経常費等補助金)	4,318,794千円
特別収入にかかる補助金 (施設設備補助金)	101,664千円

(5) 関連当事者等との取引状況

＜関連当事者との取引＞

関連当事者との取引はない。

＜学校法人の出資による会社＞

会社名称	株式会社 医大サービス
事業内容	売店及び食堂経営、損保代理店、人材派遣、受託業務、情報処理 等
資本金	50,000,000円（平成25年6月無償減資を実施）
出資額	255,520,000円（13,000株） 出資割合 100%
取引内容	損保代理店、人材派遣、業務委託、施設賃貸 等
当期中に当該会社からの受入額	寄付金 0円 事業の取引（施設利用料 他） 64,047,827円 貸付金返済 10,000,000円
当期中に当該会社への支払額	事業の取引（委託費 他） 365,725,173円
当該会社への貸付金	期末残高 95,414,884円
保証債務	債務保証を行っていない

5. 財産目録

令和元年度 財 産 目 録

I 資産総額	129,210,109,189 円
内 基本財産	102,364,622,333 円
運用財産	26,845,486,856 円
II 負債総額	87,612,622,855 円
III 正味財産	41,597,486,334 円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	102,364,622,333 円
土地	922,910.56 m ² 21,715,263,099 円
建物	305,520.84 m ² 62,319,218,640 円
構築物	1,443,771,124 円
教育研究用機器備品	22,469 点 12,045,456,750 円
管理用機器備品	1,790 点 167,919,828 円
図書	284,635 冊 2,843,945,519 円
その他	1,829,047,373 円
2 運用財産	26,845,486,856 円
現金預金	8,399,696,373 円
その他	18,445,790,483 円
資 産 総 額	129,210,109,189 円
負債額	
1 固定負債	55,609,244,442 円
長期借入金	35,508,007,000 円
その他	20,101,237,442 円
2 流動負債	32,003,378,413 円
短期借入金	14,336,144,000 円
その他	17,667,234,413 円
負 債 総 額	87,612,622,855 円
正味財産（資産総額 - 負債総額）	41,597,486,334 円